

【施策6】 高度情報化社会を主体的に生きていく力をはぐくみます

【施策の現状】

情報通信技術のめざましい発展により、生活の利便性が高まる一方、インターネット上での誹謗中傷やいじめ、情報通信機器を用いた犯罪等の新たな問題が発生しており、子どもたちに高度情報化社会を主体的に生きていくための能力を身につけさせることが必要となっています。

本県では、学校における情報教育の推進や情報環境の整備に努めるとともに、公立大学法人¹⁷会津大学（以下、「会津大学」という。）においては、コンピュータ理工学⁵⁶の教育、研究や、パソコン甲子園⁵⁷、コンピュータサイエンスサマーキャンプ⁵⁸の実施などを通して、国内外で活躍できる人づくりを行っているところです。

また、平成24年3月に文部科学省が実施した「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」によれば、ICT³⁷を活用して指導ができる教員の割合は、全国平均の70.7%に対し、本県では66.9%となっています。

【基本的方向性】

- ・ 児童生徒が、社会の情報化の進展に主体的に対応できるよう、情報活用能力を高める教育を推進するとともに、情報モラル教育の充実を図ります。
- ・ 情報通信ネットワークの活用による児童生徒の探究活動等の推進を図ります。
- ・ 知識基盤社会¹⁴の進展や国内外における大学間競争が進む中、会津大学におけるコンピュータ理工学の専門的、実践的教育や世界を視野においた研究などを通して、国内外で活躍できる人づくりに努めます。

【今後の取組】

◇ 情報活用能力の育成

発達の段階に応じて、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段の活用に関する能力を身につけさせ、各教科等においてICTを活用した学習活動を推進します。そのために、情報教育に関する研修等を通して、教員のICTに関する指導力の向上を図ります。

¹⁴ 知識基盤社会……16ページ参照。

¹⁷ 公立大学法人……17ページ参照。

³⁷ ICT……30ページ参照。

⁵⁶ コンピュータ理工学……コンピュータのソフトウェア、ハードウェアに関する学問。

⁵⁷ パソコン甲子園……全国の高校生、高等専門学校生などを対象に、平成15年度から会津大学で開催されている大会。情報処理技術における優れたアイデアと表現力、プログラミング能力等を競い合い、生徒自身のスキルアップを図るとともに、情報化社会を支える人材の裾野を広げることを目的としている。

⁵⁸ コンピュータサイエンスサマーキャンプ……全国の中学生、高校生を対象に平成9年度から会津大学で開催されている研修。コンピュータサイエンスに対する興味と関心を高め、創造する心の育成を目指している。

- ◇ 情報モラル教育の充実
関係機関と連携しながら情報モラル教育に関する教材の開発や実践事例の提供等を行うことにより、児童生徒を取り巻く情報に関する的確に判断し行動できる能力や態度を育成します。
- ◇ 教育の情報化に関する基盤整備
県内の学校及び教育関係機関の教育系のネットワークの充実を図るとともに、学校等の教育機関が利用できる教育用コンテンツの整備を進めます。
- ◇ 公立大学法人¹⁷への支援を通じたコンピュータ理工学⁵⁶の教育、研究等の推進
国内外で活躍できる人づくりのため、会津大学への支援を通して、コンピュータ理工学の専門的、実践的教育や世界を視野においた研究等の推進に努めます。

〔施策6 指標〕

指標名	現況値	目標値	備考
ICT ³⁷ を活用して指導ができる教員率（公立小・中・高・特別支援学校 ¹⁶ ）	H24年度 66.9% （参考 H22年度 64.6%）	H25年度 100%	
会津大学（学部）就職率	H23年度 94.5% （参考 H22年度 91.2%）	H25年度 100%	

¹⁶ 特別支援学校…… 17ページ参照。

¹⁷ 公立大学法人…… 17ページ参照。

³⁷ ICT…… 30ページ参照。

⁵⁶ コンピュータ理工学…… 42ページ参照。